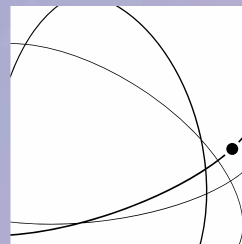


# CONSEO

衛星地球観測コンソーシアム  
Consortium for Satellite Earth Observation



# 衛星地球観測コンソーシアム (CONSEO) 活動レポート

## 2025年度 下半期



# 2025年度下半期の活動概要

一般公開

会員にOpen

Close

## ■ 政策提言・連携推進策の議論

衛星地球観測の戦略等の議論のための  
の会議体

幹事会

防災ドリル準備会合

防災ドリル実施結果報告会

光学・SAR観測WG

マイクロ波放射観測WG

衛星地球観測利用分科会

科学と環境共生分科会

## ■ CONSEO連携タスクフォース

衛星地球観測の開発利用促進のための  
産学官連携活動

CONSEOもくもくスクール2025

アイデア検討グループ 第2回

Smart City Expo  
World Congress

APRSAF-31

2026年度  
活動検討ワークショップ

JICA宇宙技術活用セミナー  
(勉強会)

デロイトトーマツ×CONSEO  
特別セミナー

マッチング

Thailand Space Expo

日フィリピン宇宙経済  
共創交流シンポジウム

JAXA駐在員事務所長による  
海外動向報告会

ESA 地球観測 (EO)  
プログラムに関するワークショップ

## ■ アウトリーチ活動

衛星地球観測の価値を広く社会に発信。  
事務局が支援し定期的、継続的に行う活動。

NIHONBASHI SPACE WEEK

CONSEOの歩き方

油井宇宙飛行士  
ISS長期滞在連携

CONSEOレポート動画

サービス事例紹介ポスター  
(英語版)

# 2025年度下半期の活動 政策提言・連携推進策の議論



## 光学・SAR観測WG

2025年度は、政府へのインプットに向けて、**官民連携・国際連携等の枠組みのオプションについて深堀検討**し、CONSEO提言や民間、JAXA等における最新動向を踏まえ、昨年度までのオプションをブラッシュアップした**提言「将来SAR観測の在り方」**をまとめた。提言は、CONSEO幹事会へ諮った後、1月27日開催の宇宙政策委員会 衛星開発・実証小委員会へCONSEO提言文章としてインプットを行った。

開催日	会合	参加者
9/1(月)	第1回会合	140名
11/11(火)	第2回会合	111名
12/16(火)	第3回会合	104名



## 防災ドリル準備会合（限定）

今年度は、「官民連携による衛星観測シナリオ」をより現実的なものへと更新、「令和7年度 大規模津波防災総合訓練」と連動させたドリルとすることで、より実態に即した形で、防災関係機関に災害時の衛星画像および推定被害情報を確認・評価いただいた。（座長：三浦名誉教授/山口大学）

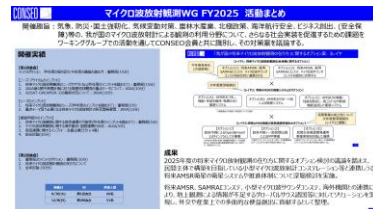
開催日	会合	参加者
7/25(金)	第1回会合	61名
8/5(火)	第2回会合	45名
8/25(月)	第3回会合	52名

防災ドリル解析事業者 説明会	
開催日	参加者
9/19(金)	9名(8社)

## マイクロ波放射観測WG

2025年度の将来マイクロ放射観測の在り方に関するオプション検討の議論を踏まえ、民間主体で構築を目指している小型マイクロ波放射計コンステレーション等と連携しうる、将来AMSR衛星の衛星システムや推進体制について深堀検討を実施。**将来AMSR、SAMRAIコンステ、小型マイクロ波サウンドコンステ、海外機関との連携**により、地上観測による情報が不足するグローバルサウス諸国等に対してソリューションを実現し、**外交や産業上での多面的な便益創出に貢献**するとして整理。

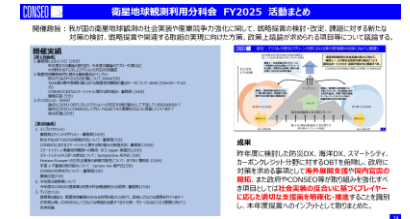
開催日	会合	参加者
9/30(火)	第1回会合	60名
12/8(月)	第2回会合	51名



## 衛星地球観測利用分科会

2024年度に検討した防災DX、海洋DX、スマートシティ、カーボンクレジット分野に対するOBTを俯瞰し、アクションの対応状況を確認するとともに、不足するアクションを識別、対応について議論。議論を踏まえ、政府に対策を求める事項として**海外展開支援**や**国内官需の開拓**、また政府やCONSEO等が取り組みを強化すべき項目としては**社会実装の度合いに基づくプレイヤーに応じた適切な支援策を明確化・推進**することを、提言案として整理。

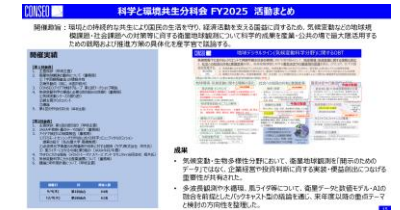
開催日	会合	参加者
10/14(火)	第1回会合	61名
12/22(月)	第2回会合	46名



## 科学と環境共生分科会

気候変動・生物多様性やTNFDの動向を踏まえ、衛星地球観測は単なる情報開示のためのデータではなく、**企業経営、投資判断、政策立案における意思決定を支える基盤情報**として活用すべきとの認識が共有された。多波長観測、水循環、風ライダ等の観測技術について、衛星データと**数値モデル・AI・地上データを組み合わせたバックキャスト型**の検討を行い、社会実装や便益創出につながる来年度以降の重点的な議論テーマの方向性を整理した。

開催日	会合	参加者
9/4(木)	第1回会合	64名
12/9(火)	第2回会合	61名



# 2025年度下半期の活動 政策提言・連携推進策の議論



## 幹事会

CONSEO会長・副会長及び幹事会メンバーによって運営される会合。  
CONSEOの執行機関として、活動及び運営にかかる必要事項を審議・決定。

### ◆ 幹事会の主な議題

- CONSEO入会希望者の審査
- CONSEO活動計画に関する審議
- その他、CONSEO活動全般に関する方針決定

開催年度	開催
2022年度	4回開催
2023年度	2回開催
2024年度	1回開催
2025年度	2月10日開催

## 防災ドリル

### 【実施方法】

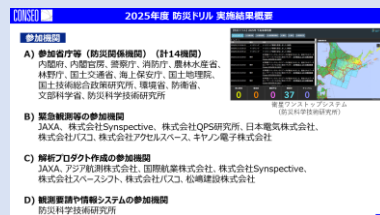
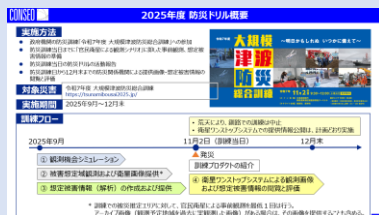
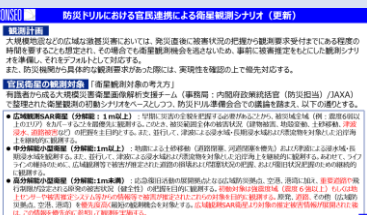
- 政府機関の防災訓練「令和7年度 大規模津波防災総合訓練」への参加
- 防災訓練当日までに「官民衛星による観測シナリオ」に即した事前観測、想定被害情報の準備
- 防災訓練当日の防災ドリルの活動報告
- 防災訓練日から12月末までの防災関係機関による提供画像・想定被害情報の閲覧と評価

### 【対象災害】

令和7年度 大規模津波防災総合訓練 <https://tsunamibousai2025.jp/>

### 【実施期間】

2025年11月2日（日）※荒天予報により中止



## 防災ドリル実施結果報告会

開催日 : 2026年1月20日(火) 13:00~15:00  
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
参加者数 : 計129名（会場36名、オンライン93名）

### ・概要

CONSEO事務局より防災ドリル全体の実施結果と概要が共有され、その後、JAXAおよび民間企業・研究機関から衛星緊急観測の実績を報告。また、各解析事業者より衛星データ解析の成果が紹介され、現場での活用可能性や技術的課題など、実務に即した知見も提示された。講評では、各機関の取り組みが年々高度化していることを評価いただくとともに、衛星データを防災現場で最大限活かすための継続的な協力の重要性が強調された。

### ◆ 防災ドリルの実施結果概要

- CONSEO事務局：JAXA 田口

### ◆ 衛星緊急観測にかかる実績について

- JAXA
- 株式会社Synspective
- 株式会社QPS研究所
- 株式会社パスコ
- 株式会社アクセルスペース
- 防災科学技術研究所

### ◆ 衛星データ解析にかかる実績について

- アジア航測株式会社
- 国際航業株式会社
- 株式会社Synspective
- 株式会社スペースシフト
- 株式会社パスコ
- 松嶋建設株式会社
- JAXA

### ● 講評者（講評順）

- 井澤 清(内閣府防災)
- 石井 陽(国交省防災課災害対策室)
- 中島 圭一(防衛省陸上幕僚監部)
- 三浦 房紀(山口大学、CONSEO防災ドリル準備委員会会長)
- 六川 修一(東京大学 名誉教授)
- 外岡 秀行(茨城大学、CONSEO光学SAR観測WG副主査)
- 中須賀 真一(東京大学、CONSEO光学SAR観測WG主査)



## CONSEOもくもくスクール2025

開催日 : 2025年10月29日~30日  
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER

昨年度に引き続き、「もくもくスクール」を開催。  
今回のもくもくスクールでは、合成開口レーダー（SAR）衛星データをテーマに、初心者向けと経験者向けの2コースを開設し、それぞれのレベルに応じた実践的な演習を行った。アンケートの結果、満足度は非常に高く、今後も衛星データ解析講座の開催を希望する参加者が多かった。

### ①初心者向け「実例で学ぶSAR衛星データ利活用講座」

開催日 : 2025年10月29日(水) 12:30~15:30  
参加者数 : 25名  
講師 : 宮崎 浩之(株式会社GLODAL 代表取締役)

### ②経験者向け「SARコヒーレンス解析入門」

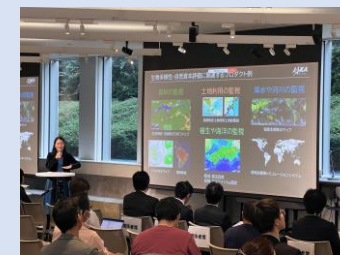
開催日 : 2025年10月30日(水) 12:30~15:30  
参加者数 : 28名  
講師 : 長井 正彦  
(山口大学 応用衛星リモートセンシング研究センター教授/センター長)



## デロイトトーマツ×CONSEO 特別セミナー

開催日 : 2025年11月25日(火)  
13:00~16:30  
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
参加者数 : 計57名

- ◆開会挨拶
  - 角南 篤 (デロイト トーマツ戦略研究所 共同代表理事)
- ◆基調講演
  - 「「見通せる社会」の実現に向けたJAXAの衛星地球観測プログラム」
    - 前島 弘則 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 第一宇宙技術部門 地球観測統括)
  - 「生物多様性・自然資本の見地から考える地球観測衛星」
    - 松尾 尚子 (宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 第一宇宙技術部門 地球観測プログラム戦略室長)
- ◆特別対談
  - 「衛星データとビジネス課題の解決の接点、衛星の活用がもたらす社会経済便益」
    - 丹羽 弘善 (デロイト トーマツ コンサルティング合同会社 パートナー)
    - 馬奈木 俊介 (九州大学 工学研究院 主幹教授)
- ◆パネルディスカッション 「TNFD対応における企業の課題と衛星データ市場の発展可能性」  
【前半】
  - モデレーター
    - 中村 詩音 (デロイトトーマツコンサルティング株式会社 | マネージャー)
  - パネリスト
    - 福島 宏樹 (三菱地所株式会社 | サステナビリティ推進部)
    - 浦嶋 裕子 (MS&ADインシュアランスグループ | 上席スペシャリスト)
    - 後藤 知弘 (有限責任監査法人トーマツ | パートナー)  
【後半】
  - モデレーター
    - 長山 聡祐 (デロイトトーマツスペースアンドセキュリティ合同会社 | 執行役)
  - パネリスト
    - 大竹 篤史 (株式会社NTTデータ | スマートビジネス統括部)
    - 久保田 康裕 (株式会社シンク・ネイチャー | 代表取締役社長、CEO)
    - 渡邊 康宏 (JAXA 第一宇宙技術部門 | 主任)
- ◆閉会挨拶
  - 長山 聡祐 (デロイトトーマツスペースアンドセキュリティ合同会社 | 執行役)



# 2025年度下半期の活動 CONSEO連携タスクフォース

## アイデア検討グループ第2回

開催日 : 2025年11月28日(金) 10:00~17:30  
実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
参加者数 : 計106名(会場:45名、オンライン:61名)

### ◆開会挨拶

- 松尾 尚子(JAXA 第一宇宙技術部門 地球観測プログラム戦略室長)

### ◆基調講演

- 「増加する異常気象は「気候災害」--これからの日本はどうなる?--」  
➢ 立花 義裕(三重大学 生物資源学研究所 地球環境学講座 教授)

### ◆テーマ① 水循環シミュレーションに関する産学官の取り組みと期待

進行: 久保田 拓志(JAXA第一宇宙技術部門 地球観測研究センター 研究領域主幹)

- 陸域水循環シミュレーションシステムToday's Earth  
➢ 山本 晃輔(JAXA 地球観測研究センター 研究開発員)
- リアルタイム洪水予報ソリューション“Water Vision”の紹介  
➢ 石川 悠生(株式会社Gaia Vision 研究員)
- 浸水被災地域の観測・予測について  
➢ 多嘉良 朝恭(あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 デジタルビジネスデザイン部 担当部長)
- 災害情報プラットフォームSOCOCA Satellite +とToday's Earthへの期待  
➢ 栗原 悠太(株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル水資源・防災部)

### ◆基調講演

- 気候の転換点(ティッピングポイント)を巡る議論  
➢ 河宮 未知生(海洋研究開発機構 地球環境部門 環境変動予測研究センター センター長/東北大学変動海洋エコシステム高等研究所・教授)

### ◆テーマ② 環境観測における多波長への期待(産業利用も目指して)

進行: 島田 利元(JAXA 第一宇宙技術部門地球観測研究センター)

- 「デロイトトーマツ×CONSEO 特別セミナー」実施報告  
➢ 栃木 佑太(デロイトトーマツ スペース&セキュリティ合同会社)
- 地球システムの理解に対する多波長センサの貢献可能性について  
➢ 立入 郁(海洋研究開発機構 地球環境部門 環境変動予測研究センター 主任研究員)
- 藻場創生適地・対策提案システムの構築と衛星データの活用  
➢ 堀江陽介(日本工営株式会社 中央研究所先端研究センター NbS研究室 課長)
- 多波長光学衛星による林野火災モニタリング&モデル開発  
➢ 棚田 和玖(JAXA 地球観測研究センター 研究開発員)

### ◆テーマ③ ドップラライダーへの期待(次世代技術を見据えて)

進行: 中島 正勝(JAXA 研究開発部門センサ研究グループ)

#### 【講演】

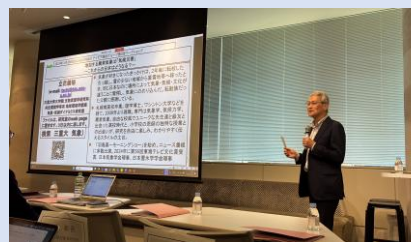
- ドップラライダーの概要: その仕組みと利用状況  
➢ 石井 昌憲(東京都立大学 教授)
- 風データの気象への適用  
➢ 岡本 幸三(気象庁気象研究所 気象観測研究部 部長)

#### 【パネルディスカッション】

- モデレーター: 石井 昌憲(東京都立大学 教授)
- 風力発電における風況観測の重要性とドップラライダーによる風観測  
➢ 山口 敦(足利大学工学部創生工学科建築・土木分野 教授)
- ドローンや次世代エアモビリティ分野での風データ利用への期待  
➢ 中村 裕子(東京大学 スカイフロンティア社会連携講座 日本無人機運行管理コンソーシアム(JUTM)事務局次長 特任准教授)
- 見えないものをセンシングし見える化する技術  
➢ 満倉 靖恵(慶應義塾大学 理工学部システムデザイン工学科 教授)
- 衛星データを医療・健康にどう活かすか: 看護の立場から  
➢ 福井 小紀子(東京科学大学 保健衛生学研究科 教授)
- 航空事業と風  
➢ 松本 紋子(ANAホールディングス株式会社 グループ経営戦略室 事業推進部 宇宙事業チーム マネージャ)

### ◆総括

- 早坂 忠裕(東北大学教授/CONSEO共生分科会 主査)



# 2025年度下半期の活動 CONSEO連携タスクフォース



## マッチング

衛星地球観測分野の様々なプレイヤーが集うCONSEOのコミュニティとしての強みを会員が享受できるよう、「CONSEO会員同士がつながる」ことを目的としたツール/システムを作成・導入を検討する活動

### 1. 会員検索の更新

会員検索は、掲載を希望した会員のスキル情報を検索できるようにしたもので、CONSEOWebサイトに掲載している。2023年に87会員で運用を開始。今年度は6回(6、8、10、12、1、3月)更新を行う。下半期に15会員を追加し、計166会員のスキル情報が検索できるようになった。

CONSEO member search  
CONSEO 会員検索

検索結果 151件  
(151件中10件表示)

企業名	業種	役割
株式会社Sorano me	ビジネス・メディア・情報関係	1. リモセン (衛星・陸) 森林・緑地 2. リモセン (衛星・空) 海洋気象ガス・エアロゾル 3. リモセン (衛星・陸) 農業
株式会社日テレアクセス	ビジネス・メディア・情報関係	1. その他 2. その他 3. その他
株式会社バスキュール	ビジネス・メディア・情報関係	1. データフュージョン 2. 画像処理・AI 3. コンサルティング/タスク IT
株式会社ユーベース	ビジネス・メディア・情報関係	1. その他
日本テレビ放送網株式会社	ビジネス・メディア・情報関係	1. その他 2. その他 3. その他
株式会社SPEC	ビジネス・ビジュアル・データ (衛星データ・気象・環境以外)	1. 画像処理・AI 2. 地上システム データプラットフォーム 3. コンサルティング/タスク IT
株式会社ゼロボード	ビジネス データプラットフォーム	1. データ分析 2. クラウド 3. コンサルティング/タスク IT
SkySense 株式会社	ビジネス データプラットフォーム	1. 製造技術 (その他) 2. リモセン (衛星・陸・海・空) その他 3. 地球科学 (陸) 観測 (ドローン・気球・HAPS)
株式会社オリエントマイクロエレクトロニクス	ビジネス その他	1. 製造技術 (センサー) レーダ計画 2. 製造技術 (センサー) SAR 3. 製造技術 (衛星) 伝送系
スマート農業共同隊 (連称: SAC)	ビジネス その他	1. その他

### 2. カオスマップ、会員名鑑の更新

掲載を希望した会員のロゴを業種別に掲載したものを。今年度は年2回(9月、3月)の更新を行う。2026年3月版では、新たに15会員を追加し、計166会員のロゴを掲載したカオスマップ、会員名鑑を作成。

CONSEO Consortium for Satellite Earth Observation

Envision the future with Satellite Earth Observation.

衛星地球観測コンソーシアム (CONSEO) 会員名鑑  
2026年3月

# 2025年度下半期の活動 CONSEO連携タスクフォース

## Thailand Space Expo

開催日 : 2025年10月16日(木)～18日(土)  
実施場所 : ICONSIAM (バンコク)  
主催 : タイ地理情報・宇宙技術開発機関 (GISTDA)

・概要  
CONSEO紹介ポスターの掲出やユースケースの説明



## 日フィリピン宇宙経済共創交流シンポジウム

開催日 : 2025年11月17日(月)  
主催 : 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)、フィリピン宇宙庁 (PhilSA)  
協力 : CONSEO

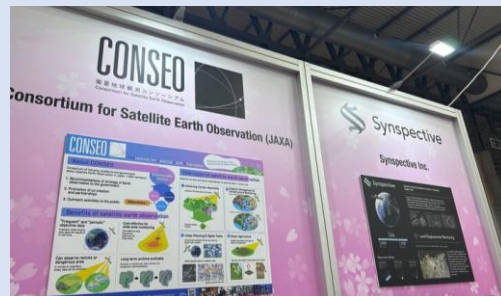
・概要  
APRSAFの関連イベントとして開催。フィリピンの主要社会課題や関心事を中心に、アジェンダを構成。JAXAの重点テーマと関連する技術やサービスを提供する企業から事業紹介を行い、フィリピン政府や企業関係者等とのネットワーキングを実施。



## Smart City Expo World Congress

開催日 : 2025年11月4日(火)～6日(木)  
実施場所 : Fira de Barcelona Gran Via (スペイン バルセロナ)

・概要  
バルセロナで開催される世界最大級のスマートシティイベント。世界中の自治体や民間企業、団体が集結し、先進的なサービスや成功事例を紹介し合う場。出展3年目の取り組みとして、ESAや欧州都市コミュニティ等とのパネルディスカッション企画の主催や、CONSEO会員との出展(今年度はSynspectiveが出展)を通じて、スマートシティ×衛星データ活用の日本発の事例をグローバルに発信しプレゼンスを向上するとともに、継続的な海外の最新動向調査およびネットワーキング、また具体的展開に向けた関係機関との対話を行った。



## APRSAF-31

開催日 : 2025年11月18日(火)～21日(金)  
実施場所 : Cebu, Philippines (フィリピン・セブ)

概要  
宇宙関連機関に向けて、CONSEOの取り組み・仕組みを紹介するほか、会員サービスの紹介や重点テーマについても発信するとともに、海外コミュニティとの連携を強化することを目的に展示を実施した。最終日には、フィリピン共和国のマルコスJr.大統領が会場を訪問され、各国宇宙機関及び出展企業の展示を視察された。CONSEOブースでは、フィリピン宇宙庁 (Philippine Space Agency: PhilSA) のゲイ長官代行が大統領を案内し、JAXAの山川理事長や前島地球観測統括とともに産学官連携によるエコシステム形成の事例としてCONSEOを紹介した。



## JAXA駐在員事務所長による海外動向報告会

開催日 : 2025年12月16日(火) 10:00~12:00  
 実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
 参加者数 : 計257名(会場:92名、オンライン:165名)

- ◆開会挨拶
  - 小野田 勝美(JAXA調査国際部長)
- ◆JAXA駐事務所長からの報告
  - 和田 恵一(ワシントン駐在員事務所長)
  - 西川 岳克(ヒューストン駐在員事務所長)
  - 森本 幸一(パリ駐在員事務所長)
  - 和田 理男(モスクワ技術調整事務所長)
  - 中村 全宏(バンコク駐在員事務所長)
- ◆新事業・基金事業について
  - 伊奈 康二(宇宙戦略基金事業部企画推進課長)
- ◆トークセッション (CONSEO)
  - モデレーター
    - 杉田 尚子(JAXA 地球観測プログラム戦略室参事・CONSEO事務局)
  - パネリスト
    - 和田 恵一(ワシントン駐在員事務所長)
    - 森本 幸一(パリ駐在員事務所長)
    - 中村 全宏(バンコク駐在員事務所長)
  - コメンテーター
    - 西村 竜彦(Frontier Innovations 代表取締役社長/ジェネラルパートナー)
- ◆閉会挨拶
  - 杉田 尚子(JAXA 地球観測プログラム戦略室参事・CONSEO事務局)



## 2026年度 活動検討ワークショップ

開催日 : 2026年1月23日(金) 15:00~17:15  
 実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
 参加者数 : 計33名

- ・概要  
 2026年度のCONSEOの活動をさらに発展させ有益で意義深いものとするために、2025年度の改善点を振り返りながら次年度の活動計画をCONSEO会員と共に考えるワークショップとして開催。様々な分野の方々の参加を得て、多くの意見やアイデアが出され、活発な議論が交わされた。



## Workshop on ESA's EO Programs

開催日 : 2026年3月10日(火) 10:00~13:30  
 実施場所 : X-NIHONBASHI TOWER  
 参加者数 : 計79名  
 主催 : ESA、CONSEO

- Introduction & Welcome by Jean-Charles Bigot, ESA and Naoko Sugita, JAXA
- Why an ESA Office in Tokyo and for what (ESA Tokyo Office) by Jean-Charles Bigot, ESA
- Presentation on ESA's EO Programmes by the Director of Earth observation program at ESA, Dr Simonetta Cheli
- Panel I "Satellite, SAR & Optical, constellation"
- Panel II "Satellite data utilization"



# 2025年度下半期の活動 アウトリーチ活動



## CONSEOポスター制作

国内・海外展示用等を目的に、各種ポスター等を制作し、展示会等で展示、Webサイトへの掲載を行った。



## CONSEOレポート動画

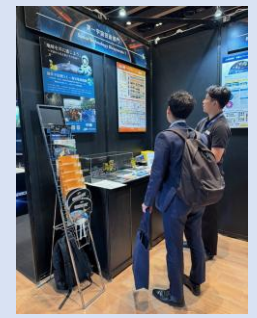
デジタル分野やグリーン分野における衛星利用を促進することを目的として作成した『CONSEOレポート』について、その内容をわかりやすく解説する動画シリーズを作成・YouTubeで公開した。



## NIHONBASHI SPACE WEEK

開催日 : 2025年10月28日~30日  
実施場所 : 日本橋三井ホール

概要 : CONSEOカオスマップやCONSEO紹介ポスターの掲出、GOSAT-GW、ALOS-4の模型を展示。また、CONSEOの歩き方、会員名鑑、チラシ等を配布し、来場者とのコミュニケーションを実施した。



## 油井宇宙飛行士ISS長期滞在連携

### ◆地球を共に感じよう企画 (JAXA×CONSEO×防災科研連携企画)

【趣旨】  
油井宇宙飛行士のツイートを起点に、JAXAやCONSEOのSNSやEarth-graphy, サテナビ (深掘) を連動→「人の目」=「感情」と「衛星の目」=「科学技術による地球の様々な情報」を掛け合わせることで、地球観測を推進する機運の醸成や意義価値を効果的に社会へ発信。



### ◆MyEarthミッション (出前授業・高校生特派員活動)

「宇宙から見る地球」に触れる感動体験！  
衛星データがアップデートするわたしたちの視点。」

全国の高校から公募した3校にて、CONSEO事務局員が出前授業を実施した。左記、「地球を共に感じよう」の取組で制作したEarthDiaryを活用し、油井宇宙飛行士がISSから撮影する写真と、地球観測衛星の画像を重ねて解説し、学校の教育方針や教科の特色にあわせて「宇宙視点で地球を見る」学びを提供。  
※油井宇宙飛行士の帰還に伴い、交信イベント部分は中止。



## CONSEOの歩き方

会員数の増加とともに、CONSEOの活動もますます多様化しており、「どのイベントに参加すればいいのかわからない」といった声が多数寄せられた。そこで、会員登録を検討されている方や、参加の一步が踏み出せない方にも、CONSEOをより効果的にご活用いただくためのガイドブックを作成した。

